


令和5年度  
和歌山県立中学校  
適性検査Ⅰ

(9:15~10:00)

(注意)

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 「はじめ」の合図があったら、まず、受検番号を記入しなさい。
- 3 適性検査は、どこから始めてもかまいません。
- 4 解答は、すべてこの冊子の  で囲まれた場所に記入しなさい。
- 5 計算などは、この冊子の余白を使いなさい。
- 6 印刷が悪くてわからないときや筆記用具を落としたときなどは、だまって手を挙げなさい。
- 7 時間内に解答が終わっても、そのまま着席していなさい。
- 8 「やめ」の合図があったら、すぐに解答するのをやめ、冊子の表紙を上にして机の上に置きなさい。

この適性検査には、「みどりさん」と「あきらさん」たちが登場します。  
いっしょに、いろいろな課題について考えてみよう。

## 研究1 読み取った内容から考えをまとめよう

みどりさんとあきらさんの学級では、言葉について書かれた文章を読んで、気付いたことを話し合ったり、考えたことをまとめたりする活動をおこなっています。

※には(注)がある。

著作権等の関係で掲載していません



## 研究2 県産品（うめ・もも）の授業から考えよう

あきらさんとみどりさんは、和歌山県からもらったうめを使って、うめジュースを作ります。砂糖とうめでできたうめシロップを水でうすめると、1Lのびん6本と1Lのびん半分のうめジュースができました。

あきら： できたうめジュースの量は $6\frac{1}{2}$ Lだね。

みどり： 1人分を紙コップに200mLずつ入れるとすると、何人分できて、どれだけの量があまるのかな。

あきら： 200mLは1Lの $\frac{1}{5}$ だから、分数で計算できそうだね。どうかな。

あきらさんの考え

200mLは、1Lの $\frac{1}{5}$ だから、

$$\begin{aligned}6\frac{1}{2} \div \frac{1}{5} &= \frac{13}{2} \times 5 \\ &= \frac{65}{2} \\ &= 32\frac{1}{2}\end{aligned}$$

32人分できて、 $\frac{1}{2}$ Lあまる。

### 課題1

あきらさんの考えには、まちがっているところがあります。まちがっているところを書き出してみよう。また、正しく直してみよう。

まちがっているところ

正しく直したもの

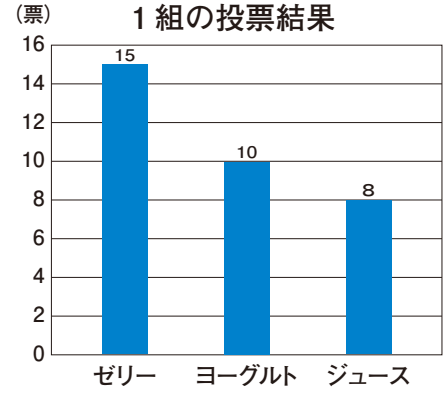
あきらさんたちの学年は2学級あり，和歌山県からもらったももを使ってどんなデザートを作るか，投票で決めることになりました。

あきら： 1組の投票結果は，グラフのとおり「ゼリー」がいちばん人気だね。

みどり： あとは2組の開票だね。2つの学級の票を合わせて，いちばん票の多かったデザートに決まるよ。

あきら： 2組の投票で「ゼリー」に最低あと何票入れば，「ゼリー」に決まるのかな。

みどり： 2組の児童数は32人だね。



## 課題2

2組の投票で，最低あと何票入れば確実に「ゼリー」に決まりますか。ことばや式，表などを使って説明してみよう。

### 説明

最低あと ( ) 票入れば確実に「ゼリー」に決まる。

## 研究3 社会見学から考えよう

みどりさんとあきらさんは、これまでの社会見学をふり返りながら話をしています。

みどり： 警察署<sup>けいさつしょ</sup>へ見学に行ったね。事故や事件が起きたとき、その場所にすぐにかかけたいと、警察署の人が言っていたよ。

あきら： そうだね。事故や事件を見つけた人が、すぐに110番の連らくをして、正確な情報を伝えることが大切だと聞いたね。

みどり： 110番の連らくは、県の警察本部にある通信指令室につながるようになっていたね。

### 課題1

110番の連らくを受け、警察が、事故や事件が起きた場所に、はやく行くことができる理由を、通信指令室のはたらきと関連づけて書いてみよう。

理由

(資料1)

あきら： 学校<sup>かん</sup>近くのある家で、(資料1)のような、「こども110番の家」と書いた看板を見つけたよ。

みどり： こども110番のしくみについて学習したね。

こども  
110番の家



### 課題2

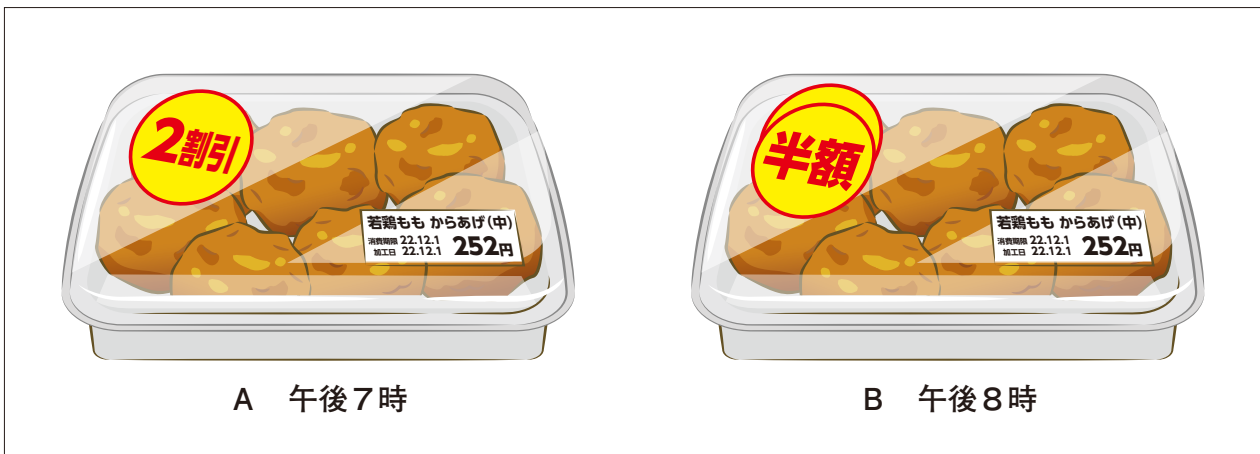
こども110番のしくみについて説明してみよう。

説明

あきら： スーパーマーケットにも見学に行ったね。

みどり： そうだね。お店のいろいろなくふうを知ることができたね。

(資料2) 店の売り場にならべられた同じ食品



### 課題3

- (1) (資料2) は、午後9時まで営業している店の売り場にならべられた同じ食品の、Aは午後7時、Bは午後8時のものを表しています。AとBを比べてわかる店のくふうを具体的に書き、そのようなくふうをしている理由を、店の立場で書いてみよう。

くふうと理由

- (2) 店の売り場にならべられた食品について、その生産者や、どのように生産されたかなどの情報を追せきできるしくみを何といいますか。カタカナ8文字で、その言葉を書いてみよう。

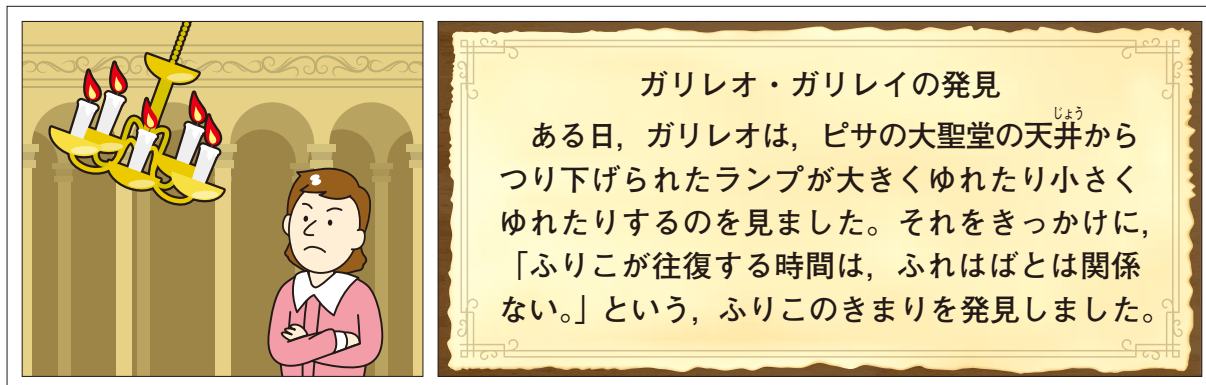
言葉

--	--	--	--	--	--	--	--

## 研究4 科学イベントに出かけたことから考えよう

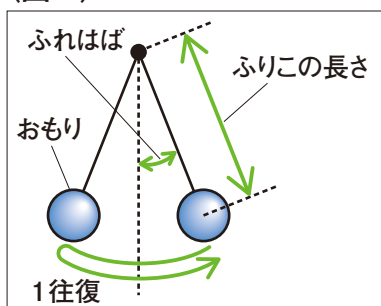
あきらさんとみどりさんは、科学イベントの科学の歴史コーナーへ行き、イタリアの科学者、ガリレオ・ガリレイ（1564～1642年）が発見したことについての説明（図1）を読みました。

（図1）



あきらさんたちは、（図1）のガリレオ・ガリレイが発見したふりこのきまりを調べるために、ふりこ（図2）を使って、ふれはば、ふりこの長さ、おもりの重さをそれぞれ変えて、ふりこが1往復する時間を求め、結果を記録しました。（表）

（図2）



（表）

	ア	イ	ウ	エ
ふれはば (°)	20	30	30	30
ふりこの長さ (cm)	50	50	25	50
おもりの重さ (g)	10	10	10	20
ふりこが1往復する時間 (秒)	1.4	1.4	1.0	1.4

### 課題1

（表）から「ふりこが往復する時間は、ふれはばとは関係ない。」ことを示すためには、ア～エの中のどれとどれを比べればわかりますか。その記号を2つ選んで、下の□□に書いてみよう。

また、ふりこが1往復する時間は何に関係しているのか、（表）から説明してみよう。

記号

と

説明



みどりさんたちは、次に、おもちゃコーナーで、「回路をつくって遊ぶおもちゃ」(写真1)を見つめました。このおもちゃは、厚紙に、ビニルテープとアルミニウムはくがはりつけられていて、そのいくつかが導線や金属製のスプーンなどでつながられています。厚紙の裏から磁石で鉄くぎを自由に動かして回路をつくり、豆電球の明かりをつけて遊びます。

(写真1)



## 課題2

(写真1)のおもちゃは、金属の性質と磁石の性質を利用しています。それぞれどのような性質を利用しているか書いてみよう。

金属の性質

磁石の性質

あきらさんたちは、科学イベントから歩いて帰っていると、家の近くの公園に水たまりができているのを見つけました。(写真2)

(写真2) 水たまり

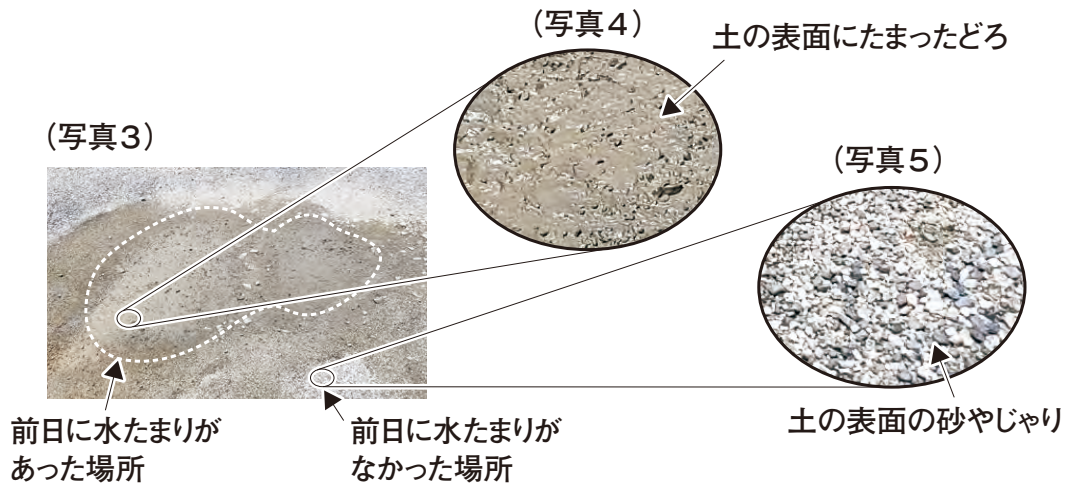


あきら： 水たまりができているよ。今までこの場所に、水たまりはできていなかったよね。

みどり： きこのうの夜、たくさん雨がふったから、水たまりができたんだね。

次の日、あきらさんたちは、同じ公園に遊びに行きました。前日に水たまりがあった場所(写真3)の土の表面のようすを見て、どろがたまっていることに気がつきました。(写真4)

また、(写真3)の、前日に水たまりがなかった場所の土の表面のようす(写真5)を見ると、砂やじゃりが多く見られ、どろはたまっていませんでした。



### 課題3

(写真4)のように、水たまりがあった場所の土の表面にどろがたまった理由を、水のはたらきと土のつぶの大きさから書いてみよう。

理由